

環境影響評価集計表 環境影響に関する研究一覧

(対象年度:2019年度 調査実施年度:2020年度)

部局	No.	著書名、論文名、発表演題等	担当者	研究の概要
人文学部	1	学会発表「社会制御システム論と環境社会学の研究戦略」(2019年6月、第59回環境社会学学会大会、明治学院大学)	茅野恒秀	船橋晴俊によって提唱された社会制御システム論の構成要素と意義を確認し、環境社会学の今後の研究戦略を展望した。
	2	学会発表「除染土・除染廃棄物問題の論点」(2019年6月、日本環境会議セミナー、東洋大学)	茅野恒秀	東京電力福島第一原子力発電所の事故によって広範に拡散した事故由来の放射性物質の現状について、①多くの対処の空白の存在、②場所的基準の適用、③政治的・人為的線引きの3点が問題を複雑化させていることを論じた。
	3	論文「集落はなぜ共有地をメガソーラー事業に供する意思決定を行ったのか:霧ヶ峰麓の環境史・開発史からの考察」(2020年3月、信州大学人文科学論集、第7号第2冊)	茅野恒秀	全国のメガソーラー問題の多くが、共有地の性格を有してきた土地に外来型開発として計画・建設されていることに着目し、立地地域における人と自然との関係を規定してきた環境史・開発史をもとに問題を分析した。
理学部	1	Sonochemical preparation of gold nanoparticles for sensitive colorimetric determination of nereistoxin insecticides in environmental samples <i>Talanta</i> (188) 652 2018	Takahashi Fumiki, <i>et.al.</i>	環境試料中の農薬成分の高感度分析法の開発について報告した。
全学教育機構	1	神戸シュティフター・シンポジウム(2018.12.16.於:神戸大学) 「故郷」の記憶—シュティフターの作品における「場所の感覚」—	松岡幸司	シュティフターの作品に現れる「故郷」という「場所」に関して、環境文学的なアプローチを行い、人間のアイデンティティと環境の関連について考察した。
	2	「故郷」の記憶—シュティフターの作品における「場所の感覚」— DA,(第13号特集:アーダルベルト・シュティフター)pp.3-10.2019.3.	松岡幸司	上記報告を論文化したもの。
	3	第130回日本森林学会大会 ポスター発表 文学を通じた(森林)環境教育(2)	松岡幸司	(森林を含む)環境教育において、「環境文学・環境批評」の観点からの研究アプローチの実践例を報告した。
	4	野外におけるコミュニケーションスポーツイベントの開発-障害者とその家族両者の余暇の充実に向けて-	加藤綾乃	バリアフリー化が困難な山岳観光地での車椅子利用者とその家族・友人も楽しむことができるアウトドアスポーツイベントの開発
	5	発表題目:「ボルネオ奥地で行う教養実践ゼミと学生の反応」 日本熱帯生態学会第29回年次大会2019(Jun.15)	金沢謙太郎	本報告は、一般教養の授業(ゼミ形式)において熱帯の農山村を訪れた学生たちの反応とその教育効果について検討するものである。演習地はマレーシア、サワラク州のバラム川流域である。
	6	「採集」、『東南アジア文化事典』、丸善出版、2019(Sep)	金沢謙太郎	採集とは、野生の植物や小型の動物を採って集めることである。以下、東南アジアにおける自給用の採集と交易用の採集を解説した。

医学部	1	子どもの健康と環境に関する全国調査(環境省 エコチル調査)	野見山哲生他	環境中にある化学物質が子どもの健康に影響を与えていないかを検証する疫学調査を長野県上伊那地域で実施している。
	2	PM2.5 健康影響調査	野見山哲生他	環境中にあるPM2.5が健康に影響を与えていないかを検証する疫学調査を実施している。